



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月2日

上場会社名 ジオスター株式会社

上場取引所 東

コード番号 5282 URL <http://www.geostr.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 栗山 実則

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営管理部経理チームリーダー (氏名) 井上 幸則

TEL 03-5844-1201

四半期報告書提出予定日 平成24年11月2日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	10,309	—	△197	—	△181	—	△163	—
24年3月期第2四半期	7,006	16.7	△93	—	△77	—	△130	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △182百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △201百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△5.22	—
24年3月期第2四半期	△7.36	—

(注) 当社は、平成23年10月1日付で東京エコン建鉄株式会社と合併いたしました。そのため、対前年同四半期増減率は記載を省略しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	24,177	12,439	51.3
24年3月期	27,165	12,733	46.8

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 12,411百万円 24年3月期 12,704百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	3.50	3.50
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、定款において第2四半期末及び期末日を配当基準日と定めておりますが、平成25年3月期の期末配当については、現在のところ具体的な金額は未定であります。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,200	—	370	—	380	—	800	—	25.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注2) 平成24年3月期の東京エコン建鉄株式会社との合併が、期中(10月1日)に行われたため、対前期増減率は記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期連結会計期間より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	31,530,000 株	24年3月期	31,530,000 株
25年3月期2Q	242,305 株	24年3月期	241,791 株
25年3月期2Q	31,288,003 株	24年3月期2Q	17,689,671 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・当社グループは、適正な利潤の確保に努め、健全な発展と持続性のもと、収益状況に対応した安定適正な配当維持に努力することを基本方針としております。また、内部留保をさらに充実し、企業体質の強化と将来の事業展開に備えたいと考えております。平成25年3月期の配当につきましては、経営環境の先行きが不透明であることから、今後の実績や財務状況等を総合的に勘案したうえで判断させていただきたく、現時点では未定とさせていただきます。配当予想を決定次第、速やかに公表いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要とエコカー補助金などの政策効果に支えられ回復を続けてきましたが、海外経済の減速を受け、足踏み状態となっています。公共投資は、復興需要の本格化に伴い被災地を中心に増加しているものの、鉱工業生産・個人消費は弱めの動きとなっており、先行きは依然不透明であります。

当社グループの属する建設業界につきましては、土木事業分野においては、公共工事の削減とゼネコンの低価格入札による競争激化と受注価格の低下、また、建築事業分野においては、新設住宅着工戸数は被災住宅を背景に持ち直しの動きが見られるものの、依然として低水準で推移しており、両事業分野共に、厳しい事業環境が続いております。

このような状況下、当社グループは、平成23年10月1日付けで東京エコン建鉄株式会社と合併し、「新ジオスター」としてスタートを切りました。新ジオスターは、建設業界で漸減する工事量と厳しいコスト要求の中で、親会社である新日鐵住金株式会社との営業連携の下、復興需要をはじめあらゆる需要を掘り起こし捕捉すると共に、合理的な生産体制の構築を行い、新会社の基盤を確固たるものにし、確実に成長する会社とすべく、全社員・グループ会社一丸となり、努力してまいります。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高103億9百万円（前年同期は70億6百万円）、営業損失1億97百万円（前年同期は93百万円の損失）、経常損失1億81百万円（前年同期は77百万円の損失）、四半期純損失1億63百万円（前年同期は1億30百万円の損失）となりました。なお、前年同期の業績は、合併前の当社のものであります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

土木

平成23年10月1日付の合併により、当社は鋼製セグメントの製造販売及び合成セグメント等についての新日鐵住金株式会社からの受託製造を行うこととなり、シールドトンネルに必要なあらゆる種類のセグメントを製造できる体制を整えることとなりました。本合併の効果に加えて、従来から推し進めております在来工法のプレキャスト化と震災復興プロジェクトの受注拡大に努めた結果、当第2四半期連結累計期間の土木事業全体の売上高は、83億6百万円（前年同期は52億78百万円）、営業損失は34百万円（前年同期は83百万円の利益）となりました。

建築

戸建鉄筋コンクリート住宅を担当する100%子会社のレスコハウス株式会社は、抜本的な収益力強化に取り組んでおります。営業面では、新商品である環境配慮型住宅「ジオ・グリーン」、二世帯住宅「ドゥーブル」、賃貸住宅「オプティマ」の販売、ネット広告の強化、キャンペーンの充実及び提携先従業員の知名度向上などにより、受注の確保・拡大に全力で取り組んでおります。また、コスト面では、協力会社と一体となったコスト削減と工場の生産性向上を推進しております。当第2四半期連結累計期間の建築事業の売上高は、20億3百万円（前年同期は17億27百万円）、営業損失は1億62百万円（前年同期は1億76百万円の損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は241億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億88百万円減少しました。流動資産につきましては161億80百万円となり、28億11百万円減少しました。これは、受取手形及び売掛金（前連結会計年度増減額△16億38百万円）・商品及び製品（同△6億62百万円）・預け金（同△5億34百万円）が減少したことが主な要因であります。固定資産につきましては、79億96百万円となり、1億76百万円減少しました。これは、有形固定資産（同△1億3百万円）・投資有価証券（同△76百万円）が減少したことが主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は117億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億94百万円減少しました。流動負債につきましては106億53百万円となり、26億69百万円減少しました。これは、支払手形及び買掛金（同△13億24百万円）・前受金（同△8億52百万円）が減少したことが主な要因であります。固定負債につきましては、10億83百万円となり、24百万円減少しました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は124億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億93百万円減少しました。以上の結果、自己資本比率は51.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

本日（11月2日）別途開示しております「平成25年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値の差異に関するお知らせ」において、当第2四半期連結累計期間の連結業績について変更致しましたが、通期については、平成24年5月15日の決算短信で公表致しました数値からの変更ございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、主として当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ4,569千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,160,753	925,253
預け金	1,864,254	1,330,109
受取手形及び売掛金	7,231,293	5,593,079
商品及び製品	5,936,136	5,273,882
仕掛品	797,000	1,020,654
原材料及び貯蔵品	1,195,586	1,124,288
その他	813,184	917,131
貸倒引当金	△5,857	△3,580
流動資産合計	18,992,352	16,180,818
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,509,193	1,523,681
機械装置及び運搬具（純額）	686,401	679,816
土地	4,516,282	4,460,490
建設仮勘定	51,686	2,216
その他（純額）	145,691	139,650
有形固定資産合計	6,909,255	6,805,856
無形固定資産	124,421	122,955
投資その他の資産		
投資有価証券	854,745	778,535
その他	348,100	347,116
貸倒引当金	△63,648	△58,265
投資その他の資産合計	1,139,197	1,067,386
固定資産合計	8,172,874	7,996,198
資産合計	27,165,227	24,177,017

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,059,480	3,734,664
短期借入金	1,200,000	1,700,000
前受金	3,745,466	2,892,893
未払費用	1,894,483	1,460,071
未払法人税等	252,721	59,999
未払消費税等	310,213	—
賞与引当金	217,921	232,879
完成工事補償引当金	22,825	22,626
災害損失引当金	4,000	4,000
工場再編損失引当金	386,193	220,326
受注損失引当金	—	99,576
工事損失引当金	15,084	15,084
資産除去債務	9,470	9,470
その他	205,908	202,318
流動負債合計	13,323,768	10,653,912
固定負債		
長期借入金	50,000	50,000
退職給付引当金	310,903	298,557
役員退職慰労引当金	124,019	113,382
資産除去債務	137,774	138,093
その他	485,444	483,312
固定負債合計	1,108,142	1,083,345
負債合計	14,431,911	11,737,258

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,352,250	3,352,250
資本剰余金	4,384,580	4,384,580
利益剰余金	4,896,174	4,623,396
自己株式	△26,741	△26,832
株主資本合計	12,606,262	12,333,393
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	98,493	77,982
その他の包括利益累計額合計	98,493	77,982
少数株主持分	28,560	28,382
純資産合計	12,733,316	12,439,759
負債純資産合計	27,165,227	24,177,017

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	7,006,491	10,309,491
売上原価	5,686,750	8,964,274
売上総利益	1,319,741	1,345,216
販売費及び一般管理費	1,413,198	1,542,787
営業損失(△)	△93,457	△197,571
営業外収益		
受取利息	344	532
受取配当金	8,648	6,101
受取ロイヤリティー	7,226	6,939
その他	11,863	9,894
営業外収益合計	28,083	23,469
営業外費用		
支払利息	10,866	6,155
その他	1,747	1,143
営業外費用合計	12,613	7,299
経常損失(△)	△77,987	△181,401
特別利益		
固定資産売却益	—	69,914
特別利益合計	—	69,914
特別損失		
合併関連費用	81,814	—
災害による損失	4,627	—
投資有価証券評価損	—	48,578
減損損失	980	3,532
固定資産除売却損	153	5,012
ゴルフ会員権評価損	—	120
特別損失合計	87,574	57,243
税金等調整前四半期純損失(△)	△165,562	△168,730
法人税等	△35,372	△6,283
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△130,189	△162,446
少数株主利益	—	822
四半期純損失(△)	△130,189	△163,269

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△130,189	△162,446
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△71,161	△20,510
その他の包括利益合計	△71,161	△20,510
四半期包括利益	△201,351	△182,957
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△201,351	△183,779
少数株主に係る四半期包括利益	—	822

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△165,562	△168,730
減価償却費	222,679	244,747
減損損失	980	3,532
合併関連費用	81,814	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	48,578
のれん償却額	—	2,000
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△7,018	△2,443
受取利息及び受取配当金	△8,993	△6,634
支払利息	10,866	6,155
売上債権の増減額 (△は増加)	952,658	1,638,213
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△940,256	509,897
仕入債務の増減額 (△は減少)	37,517	△1,324,815
前受金の増減額 (△は減少)	221,837	△852,572
その他	15,036	△806,148
小計	421,558	△708,220
利息及び配当金の受取額	8,993	6,634
利息の支払額	△10,759	△6,435
合併関連費用の支払額	△65,758	—
災害損失の支払額	△10,083	△6,515
工場再編損失の支払額	—	△153,631
法人税等の支払額	△181,741	△228,052
営業活動によるキャッシュ・フロー	162,207	△1,096,221
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△10,000
定期預金の払戻による収入	—	10,000
有形固定資産の取得による支出	△102,072	△171,111
有形固定資産の売却による収入	5,351	126,176
長期貸付金の回収による収入	355	424
その他	△4,717	△12,833
投資活動によるキャッシュ・フロー	△101,083	△57,344
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△400,000	1,150,000
長期借入金の返済による支出	—	△650,000
自己株式の取得による支出	—	△91
配当金の支払額	△53,086	△108,993
少数株主への配当金の支払額	—	△1,000
その他	△918	△5,995
財務活動によるキャッシュ・フロー	△454,005	383,920
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△392,880	△769,645
現金及び現金同等物の期首残高	2,002,461	3,015,008
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,609,580	2,245,362

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	土木	建築	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高					
外部顧客への売上高	5,278,655	1,727,836	7,006,491	—	7,006,491
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,261	3,018	4,279	△4,279	—
計	5,279,917	1,730,854	7,010,771	△4,279	7,006,491
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	83,168	△176,625	△93,457	—	△93,457

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「建築」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において980千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	土木	建築	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高					
外部顧客への売上高	8,306,352	2,003,138	10,309,491	—	10,309,491
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11,019	19,447	30,466	△30,466	—
計	8,317,371	2,022,586	10,339,958	△30,466	10,309,491
セグメント損失(△)	△34,695	△162,875	△197,571	—	△197,571

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「土木」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において3,532千円であります。